

# 目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	国際学部
大項目	4 教育研究組織
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものである
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KG1) 研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

## II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2010年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価			
		2010	2011	2012	2013
1. 毎年度、教授会にて教員研究組織が「理念・目的」「学術の進展や社会の要請」と適合しているかについて懇談し、その確認を行う。	1. 指標: 当該年度における教授会での懇談(教員研究組織が「理念・目的」「学術の進展や社会の要請」と適合しているかについて)の有無  評価基準: 実施した...評価A、実施しなかった...評価D	A	A		
2. 毎年度、言語・文化、社会・ガバナンス、経済・経営領域に関する教授研究会を4回以上開催する。	2. 指標: 当該年度における教授研究会の開催回数  評価基準: 4回以上実施した...評価A、3回...評価B、2回...評価C、1回以下...評価D	A	A		

2011年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価			
		2010	2011	2012	2013
	→				
	→				

### 《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	4月13日の教授会にて懇談を行った。
☆ 目標2	合計5回の教授研究会を行った。
備考	